

釜ヶ崎講座 ニュース	No. 7 1 号
	発行日 2024/12/10
	〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 2-9-12-202 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-9-7 釜ヶ崎日雇労働組合気付 事務局電話 090-3823-9794 郵便振替 00940-1-132778 メール kamakouza@cwo2.bai.ne.jp
ホームページ http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza	

☆第55回釜ヶ崎越冬闘争の時節が来ました！

釜ヶ崎講座は例年のとおり新年(2025年)1月3日(金曜日)に

「新春釜ヶ崎歩きツアー」を開催！☆

講座会員・読者のみなさん。釜ヶ崎講座です。常日頃からご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。また今年、初頭より切れ目なくカンパを送っていただき、厚く御礼申し上げます。有難うございました。

釜ヶ崎に厳しい寒さが到来すると共に、第55回釜ヶ崎越冬闘争の時期が来ました。旧労働センター建物周辺では12月1日朝より突如、裁判所執行官による「立ち退き裁判」決着による「代執行」が行われました。この時期、あらためて野宿をし、行き場・身寄りのない人への対応が問われています。

反失連等は、「労働センター建て替え」論議の段階からセンター周りの野宿を強いられている人達への暮らしと居場所の問題で、強制的な追い出しをせず、本人の希望の尊重のなかで具体的に対処が行われているかの問いを逐次発してきました。大阪市が本年4月策定した「ホームレス地域支援移行事業」に沿った前向きな対応策を誠実に実行していくのか、今後も厳しく見守らねばなりません。

と共に、本来野宿をせずに生きられる社会が実現していれば、上記のような事態に至ることなどありえません。例えばこの時期、年末年始の行政窓口が閉鎖される時期、釜ヶ崎周辺で路頭に迷う人、病気で行き倒れる人などの事態に、今後も知らん顔を国・行政は通すのか、それとも施策を確立するのか、さまざまな事態に対応できるセンターのありかたを実現していく正念場を迎えていると言えます。

こうした状況の中、今第55回越冬のたたかい（12月28日～新年1月6日早朝まで）が取り組まれます。みなさんの支援と結集をお願いいたします。

釜ヶ崎講座は2025年1月3日、水野阿修羅さん案内による「新春釜ヶ崎歩きツアー」を開催いたします。是非ご参加ください。お待ちしております。

新春釜ヶ崎歩きツアー案内

- 開催日時 2025年1月3日(金) 午後12時30分受付、午後1時出発
- 受付・集合場所 釜ヶ崎日雇労働組合事務所
大阪市西成区萩之茶屋1-9-7
- 案内人 水野阿修羅さん
- 参加費 500円(※資料代含む、事前予約不要)
- 主催 釜ヶ崎講座 (090-3823-9794)



Google maps

ここからは今夏「第53回釜ヶ崎夏祭り」以降、最近までのニュースを掲載させていただきます。

① ☆「第53回夏祭り」期間、猛暑の最中、

30名の参加で釜ヶ崎歩きツアーがおこなわれる☆

今夏「夏祭り」最終日8月15日、連日の猛暑日にもかかわらず、30名の方の参加を得て、水野阿修羅さんの案内で釜ツアーが行われました。

今回も金沢からの学生さんをはじめ「常連」のメンバーの方、岡山や東京からの初参加の方、多彩な「釜への来訪者」を迎えてのツアーは何とか、けが・病気もなく、完走することが出来ました。

水野さんの語りは相も変らぬ滑らかな口調で、暑さの最中の「一服の涼」と感じました。その水野さんの言によれば、釜ヶ崎地域の外国籍の住人が10%越え、近年ベトナム、ネパールの人の集住が増加、インドネシアやスリランカ、バングラデシュと今後、まさに多文化共生の街として息づいていく様相が語られました。

そして忘れてはならないこととして、今年正月1月1日の能登半島地震災禍。前回は当講座ニュースで少し述べさせてもらいましたが、この地震でいち早く被災したベトナム人同胞支援に赴いたのは釜ヶ崎に所在する「日越支援会」。今回ツアーでも水野さんは多くの外国籍の労働者が仕事のため来日しており、能登半島へも出向いていることを話してくれました。

釜ヶ崎からも地震以降、復興に多くの釜ヶ崎労働者が出向いているが、地方自治力の衰退で復興作業に拍車がかからないことが述べられました。皮肉な話です。

一方、釜での仕事の話。水野さんは最近の特徴として路上でのワンストップ型ともいえる求人紹介の増加があり、スマホ・携帯を所持していない人狙いの勧誘ではないかと話されました。近年の携帯1本で紹介・入寮の釜という求人形態から外れた人への動きか？と。

さて今回ツアーでもアンケート回収をさせてもらい、様々なご意見をいただき有難うございました。

今ツアー当日後半で雨に見舞われ、「緊急退避の場所の設定」のご指摘の問題もありました。また関連して今後の気候変動の中で、夏のツアーの猛暑時間帯催行の是非、夕方のツアーはどうか？等の問題も後日の講座スタッフ会議で話し合われました。

なかなか皆さんのアンケートに十分対応しきれておりませんが、改善に向けて、講座スタッフ一同、努力を積み重ねて答えを出していきたいと思っております。

当日参加されたみなさん、案内人の水野阿修羅さん、大変有難うございました。

② ☆8・12～15「第53回夏祭り」がおこなわれる！☆

上記の日程で「第53回釜ヶ崎夏祭り」が行われ、多数の参加者が期間中、三角公園をメインとした催しに参加、今年は「前夜祭集会」をふくめて若い人の参加が目を見せました。

3年間のコロナ禍、昨年は台風襲来で、2日間で終了。

今回、久方の全日程開催が実現しました。前夜祭集会には、『慰安婦』『反原発』『辺野古』『狭山』『ガザ緊急アクション』の各戦線を担う仲間が連帯参加しました。また期間中にパレスチナ女性も急遽かけつけ、「パレスチナ人は最後まで闘いつづけます」とアピールしました。

期間中は「のど自慢大会」、「すいか割り」、「相撲大会」、盆踊り、最終日の慰霊祭へとつながり、大いに団結と交流ができた第53回釜ヶ崎夏祭りでした。

③ ☆「第3回ポンポコカフェ」が開催され多数の来場者を迎える。☆

10月5日の土曜日、子育て所帯、女性を対象とした食料や子供服等物品配布と生活や歯科相談ができる第3回ポンポコカフェが西成区役所4Fで開催され133名の来場者がありました。

今回は車いす、ベビーカー等がスムーズに行き来できるメリットも配慮、区役所4Fの広いスペースが使われました。

この第3回目の取り組みも企画議論、前・当日の準備をふくめ、多くの釜ヶ崎を中心に動く団体・個人スタッフの協力のもと、食料を中心に子供服、絵本等、多様な品が準備され、生活困窮や稼働が困難で苦しむ子育て所帯、女性に寄り添う配布・相談会として持たれたものです。

主催である「住まいとくらしSOS おおさか」は2020年コロナ禍の最中、仕事の雇い止めと生活困窮に苦しむ特に若年層に発信しながら活動を立ち上げ、取り組みを継続しています。直近11月23日は第12回目の「食料配布&相談会」が持たれました。釜ヶ崎講座も微力ですが引き続きこれらの共同の取り組みに注力していきます。(以上この項おわり)

編集後記 ～いつも釜ヶ崎講座ニュースをご覧いただき、ありがとうございます。不十分な今の紙面で決していいいとは思っていません。

デザインの変化や写真の挿入等、「粹な講座ニュース！」と言われるように、切磋琢磨します。ご意見もください。よろしくお願いします～

～11月17日に「認定NPO法人釜ヶ崎支援機構」の「25周年イベント集会」に午前中参加しました。

『25年の歩みを振り返るとともに、これからの釜ヶ崎支援機構を語り、作っていく』とキャッチフレーズにある通り、現事務局長・小林大悟さん以下、若い人が当日の進行を引っ張っていました。

苦難の歴史を大事にしながら、またふたたび大海に舵を切り、「安心して暮らせる釜ヶ崎」をみんなで創る意気込みを感じた次第です。(K)

◆日頃は釜ヶ崎講座にご支援をいただき、御礼申し上げます。ありがとうございます。

釜ヶ崎講座は皆さんのカンパを頂き、運営しております。

今回も振替用紙を同封しております。

何卒、引き続きのカンパご支援を頂けるようお願い申し上げます。